津田体育専門学校

http://www.tsudagakuen.ac.jp/taisen/
〒511-0904 三重県桑名市野田5丁目3-12 TEL:0594-31-1161

社会体育科
幼児体育科

スポーツ指導者の能力を兼ね備えた幼稚園教諭と、幅広い年齢層に健康づくりの指導を行うスポーツインストラクター・スポーツトレーナーを育成。幼稚園、小学校・中学校、高校、スポーツクラブなど、多彩な教育機関を擁する津田学園の強みを活かした実習重視のカリキュラムにより、就職後に求められるスキルを実践的に身につけます。

企業、行政と連携! 現場とタッグを組み、"指導力"を育成するプログラムを提供しています!

スポーツ界、健康界の即戦力となる人材育成をめざして!
～スポーツクラブ・行政機関・地域団体と連携した『実践型実習』を展開しています～

産学協同プロジェクト

4月から7月の期間、毎週1回フィットネス実習として、社会体育科2年生を対象に、Sports Club AXTOS桑名様の協力を得て企業実習を実施しました。実際にスタッフ業務を体験することで、お客様への接客方法やレッスン時の留意点など、現場で必要な知識、技術を学ぶことができました。実際の職場を体験したことで、将来の具現化に繋がりました。

行政機関・地域団体主催イベントへ指導参加

一年を通して毎月1回、運営実習として学生がインストラクターとして参加しています。桑名市社会福祉協議会主催「いきいき体操教室」では、高齢者を対象に日常生活で使う筋肉のトレーニングを指導しています。国立木曽三川公園長良川サービスセンター主催の「健康体操教室」では、一般成人を対象に腹筋・背筋を中心とした筋力アップトレーニングを指導しています。指導内容も学生が立案します。現場を多く経験することで、指導力が培われます。

このように、多くの『実践型実習』を取り入れ、授業で学んだことを実際の現場で実践し、即戦力となる人材育成を展開しています。

津田情報ビジネス専門学校

http://www.tsudagakuen.ac.jp/josen/
〒511-0904 三重県桑名市野田5丁目3-12 TEL:0594-31-9331

コンピュータビジネス科
国際観光科
医療管理科

津田情報ビジネス専門学校では、少人数クラスによるきめ細かな指導のもと、コンピュータ、医療事務、観光の分野で、即戦力として活躍できる人材を育成します。2年制のコンピュータビジネス科、国際観光科、医療管理科の3学科に加え、1年制の専門研究科も設置し、学生たちの資格取得やスキルアップをサポートしています。

CEATEC JAPANでIoTを学ぶ

実際に最先端のシステムや端末に触れ、理解を深めました。

津田情報ビジネス専門学校では、関西方面と関東方面で様々な施設やイベントに参加する国内研修があります。アジア最大級の最先端IT・エレクトロニクス総合展であるCEATEC JAPAN ではIoT（全てのものがネットワークにつながる）をテーマにウエアラブル端末や遠隔医療システムなどの展示があり、映画やゲームなど様々なシーンで利用できるメガネ型のディスプレイ端末を体験してきました。京都にあるオムロンコミュニケーションプラザでは、「自動化」というキーワードをもとに、医療機器やぶつからない車のシステムなどを見学。メディプラザでは様々なメーカーの電子カルテや医療システムを実際に動かしてみることで、医療秘書の役割などを体験しながら学びました。

津田学園から多くのみなさんが全国大会に出場しました!

【津田学園高等学校】

〈囲碁部〉
■第40回全国高等学校総合文化祭囲碁部門
団体の部 出場　二上聖也（六年制）

〈水泳部〉（28年度三重県高等学校強化指定運動部）
■全国高等学校総合体育大会水泳競技大会
400m個人メドレー
村山裕哉　芝崎大賀　伊藤樹哉　北出幸太（六年制）
800mフリーリレー
村山裕哉　中村太一　神田祐介　北出幸太（六年制）

■国民体育大会
少年男子A　800mリレー　北出幸太（六年制）9位

〈ゴルフ部〉（28年度三重県高等学校強化指定運動部）
■全国高等学校ゴルフ選手権大会
団体の部　男子　4年連続出場
伊藤遼哉　安尾英修　安達大空　加藤直崇　荒木義和
男子　個人の部　伊藤遼哉

■国民体育大会　ゴルフ
少年男子　1名出場 伊藤遼哉
女子　1名出場 山下加衣

〈ボウリング部〉
（28年度三重県高等学校強化指定運動部）
■国民体育大会　ボウリング
少年男子　団体　優勝
高木裕太　加藤勇紀

【津田学園中学校】

〈テニス部〉
■全日本ジュニアテニス選手権14歳以下男子シングルス、男子ダブルス出場　橋本洸矢

【津田スイミングスクール桑名校】
■とびうお杯第31回全国少年少女水泳競技大会
男子200m自由形　8位　2分14秒13
伊藤銀士（小学6年）

【津田スイミングスクール四日市校】
谷口卓（中学3年）

■第56回全国中学校水泳競技大会
男子100m平泳ぎ　優勝　1分2秒46
男子200m平泳ぎ　優勝　2分15秒26

■国民体育大会
少年男子B100m平泳ぎ　優勝　1分2秒81
ジュニアパンパシフィック選手権 競泳日本代表

■ボウリング部 国体優勝 選手インタビュー

【高木】：多くの人が応援してくれたので絶対優勝したいと思いました。大きな大会なのでいつもと空気が違いました。応援してくれている人のためにも絶対優勝したいと思い最後の1投まで投げ切りました。

【加藤】：2人で投球に集中し、予選はトップ通過でした。2位と1ピン差でプレッシャーを感じながらも、助け合い、良いゲーム展開で優勝できました。監督や周りの選手の支え、そして家族の応援に感謝しています。

進学塾津田学園　TEL:059-321-8221　http://www.tsudagakuen.ac.jp/juku/
本部・笹川スクール　〒510-0944 三重県四日市市笹川1丁目123
大山田スクール　〒511-0904 三重県桑名市野田5丁目3-12
桑名駅前スクール　〒511-0811 三重県桑名市大字東方266-1

津田スイミングスクール　http://www.tsudagakuen.ac.jp/sports/swim/
大山田校　〒511-0904 三重県桑名市野田5丁目3-12　TEL:0594-31-1161
桑名校　〒511-0811 三重県桑名市大字東方266-1　TEL:0594-22-2610
四日市校　〒510-0821 三重県四日市市久保田2丁目11-13　TEL:059-355-7771

津田スポーツクラブ　TEL:0594-31-1161　http://www.tsudagakuen.ac.jp/sports/
津田サッカークラブ　津田体操クラブ　津田テニススクール　津田新体操クラブ　津田バレエクラブ　津田ジュニアゴルフクラブ　津田四日市リトルシニア

編集 発行　学校法人 津田学園 法人本部　〒510-0944 三重県四日市市笹川1丁目106-2

躍動

津田学園広報誌
2016.11 Vol.2

津田の夢　津田の信念　津田の友情

―― テーマ：将来の夢 ――

今回の表紙は幼稚園児、小学生、中学生、高校生に夢を書いてもらいました。みんなの夢をかなえるため、津田学園は応援します。

出会いと学びの広場
学校法人 津田学園

津田学園の教育

ICT機器を活用したアクティブな学びへ

この夏休みに小学校・中学校・高等学校の普通教室や特別教室に電子黒板を追加設置しました。3年前の夏休みに最初の電子黒板を設置し、これで小中高の全普通教室と一部特別教室に固定式の電子黒板が完備されたことになります。今後、ますます津田学園の教育ICTが発展していくこととなります。

ただしこれは単に物的環境が整ったに過ぎません。これをゴールと位置付けるのではなく、むしろここがスタートだと認識し、児童生徒にとってより一層わかりやすい授業を教師一人ひとりが作り上げる努力が必要です。児童生徒は紛れもなくデジタル世代です。日々の授業がICT機器に囲まれても違和感なく受け入れることができます。そして彼らの将来もまたテクノロジーの進化に伴ってますますICT機器の活用が日常となります。つまり教育でデジタル機器を活用していくことは、当然のごとく取り組むべき使命であるにもかかわらず、残念ながら教育界はまだまだ遅れているのが現状です。津田学園がその先鋒となり牽引していく気概を持って歩みを進めてまいります。

そして今、注目されているのがアクティブ・ラーニングです。ICT機器を活用した授業は、これらアクティブな学びと親和性が高く、上手く活用できれば児童生徒の学びに対する主体性を一層深めることができます。特にタブレット端末（iPad）を活用し電子黒板と連動させた対話的で協働的なスタイルの学びは、時間的空間的制約を越えるというICT機器ならではの特性が有効に作用します。ただ教師の話を聞き、黒板をノートに写しとるという授業から脱却し、児童生徒が自ら主体的に取り組むことができる深い学びをICT機器によって創りだしていくことが津田学園の取り組むべき方向性と考えています。

新任校長挨拶

津田学園小学校校長

岡田 浩一

この度、津田学園小学校の第3代校長を拝命しました岡田浩一です。日々、責任の大きさに身の引き締まる思いで過ごしています。校長室の窓からは児童玄関につながる外階段が見えます。毎朝登校してくる児童の「おはようございます」の元気な声が響き、我ながら素晴らしい環境にいることに感謝する日々です。

本校は今年で開校13年目です。私は小学校開設準備室のメンバーとして開校前から本校に携わり、大変貴重な仕事をさせていただいたと感謝しています。

私は津田学園に就職した2年目から津田第一幼稚園で勤務し、日々、生き生きとした表情の園児たちに囲まれ、教師の喜びを感じていました。ところが、そんな子供たちが卒園した後、暗い表情をしていることがありました。小学校生活が楽しくないことが容易に想像でき、とても残念でしたが、当時の私にはどうすることもできませんでした。幼稚園の頃のように、皆が生き生きと学校生活を送れる小学校にしたい。津田学園小学校の開設にあたり、その思いが原点となりました。今でもその思いは変わっていません。13年目を迎えまだまだ道半ばですが、学校は活気にあふれ、充実した表情の子供たちがたくさん通ってくれていることに喜びを感じます。

津田学園小学校は今後もますます発展してまいります。これまでのように、様々な新しいことに挑戦し、また古き良きものも大切にしながら、加速度的に変化する時代に対応できる人材の土台を育み、皆様方のご期待に添えるよう努力してまいりたいと思います。

津田学園中学校校長

寺本 豊

11年ぶりの津田学園中学校での勤務になります。

思えば早いもので、私が大学を出て津田学園に勤め始めてから37年余が経ちました。振り出しは津田学園創立者津田勉先生の秘書でした。世の中のことを何も知らない私を根気強く仕込んでいただいた津田勉先生のおかげで、今の私があるのだと感謝しています。仕事が少しでも遅くなると、奥様の手料理を現理事長の浩二先生らと一緒にいただくことも多く、懐かしい思い出です。

その後幼稚園での絵画指導教諭や副園長を経て、中学校校長になり、さらには小学校の校長を務め、そして今回の異動になりました。有難いことに幼稚園児から高校3年生までの教育に携わることができたことになります。

さて、中学校に赴任して半年が経ちますが、生徒たちは素直で真面目です。授業や各種行事、進路指導や生徒指導などを一つひとつ丁寧にやることで、成績だけでなく人間性も磨くことができるのではないかと、大変期待しています。

おりしも、平成32年（2020年）からの大学入試改革に向けて、中学や高校には大きな変革が求められています。現在、津田学園が推し進めている「教育ICT」「英語教育」「道徳教育」「アクティブ・ラーニング」を効果的に推進することが、入試改革の大きなうねりを乗り越え、未来を拓く真のリーダー育成には欠かせないことだとも考えています。

教員は教育の実践者です。研究し、実践し、結果を残してこそ教育者であるという信念に基づいて、今後も精一杯頑張っていきます。

幼稚園

こころの豊かな子ども
自分で考え、最後までがんばる子ども
みんなと仲良くできる子ども

TSUDA GAKUEN http://www.tsudagakuen.ac.jp/yochien/

津田第一幼稚園	〒510-0944	三重県四日市市笹川1丁目106-2	TEL:059-321-8836
津田第二幼稚園	〒510-0944	三重県四日市市笹川7丁目52	TEL:059-321-8011
津田三滝幼稚園	〒512-0934	三重県四日市市川島町6513	TEL:059-321-8311
津田桑名幼稚園	〒511-0811	三重県桑名市大字東方266-1	TEL:0594-22-2611
津田大山田幼稚園	〒511-0904	三重県桑名市野田5丁目3-12	TEL:0594-31-8182

津田学園は創立44周年を迎えました。歴史と伝統に培われた幼児教育を日々、意欲的に展開しております。幼児期の子どもは日々目覚ましい成長が見られ、人間形成の基礎を培う大切な時期です。津田学園の幼稚園では、礼儀正しいあいさつを身につけるところからはじまり、さまざまな体験を通して豊かな感性や知性を育みます。また、音楽・体育・水泳・絵画・書道・英会話など専門家による特別指導は子どもの可能性を大きく広げます。夢中になって遊び、学べる環境を提供するとともに、ご家庭との連携を大切にして子どもたちの成長を精一杯応援します。

津田第一幼稚園

ホール・保育室を新築しています。

ホールが広くなり、保育室が増えます。

平成29年3月に津田第一幼稚園のホール、保育室が完成予定です。1階には調理室ができ、ガラス越しに給食を作っている様子を見ることができます。2階には、真新しいグランドピアノがある広々としたホール。3階には、小ホールにもなる保育室ができます。その保育室は子どもたちがワクワクするような遊びのスペースとなります。屋上には、シャワー付きプールが完備され、今から子どもたちは期待で胸が膨らんでいます。

はじめて運動会で風船とばしをしました!

風船飛ばしの風船が「届きました。」と、連絡がありました。

10月8日に開催した運動会の閉会式でみんなの願いをのせた風船が空高く飛んでいきました。数日たったある日、「庭に風船が届きました。」と、電話や手紙で幼稚園に連絡がありました。風船は、山梨県、埼玉県、茨城県まで飛んでいました。お手紙には、その地方の紹介や見つけて幸せな気持ちになれたこと、また、励ましのメッセージが書かれていました。風船がどこに飛んでいったのかわかるように日本地図に印をつけ掲示しました。友だち、保護者、職員みんながとても感動を味わったひとときでした。

津田第二幼稚園

シルク・チャレンジ!!

蚕の飼育、繭からの糸取りに挑戦しました。

6月、蚕（カイコ）の飼育にチャレンジしました。子どもたちはエサの桑（くわ）の葉を一日2回与え、毎日声をかけ蚕を観察。さらに、繭からの糸とりも行いました。鍋に水と繭を入れて沸騰させ、差し水をして火を止め、割り箸でかき混ぜて糸巻道具に巻きとります。肌触りが良く、キラキラと光るシルクに、子どもたちから歓声が上がりました。蚕蛾の歴史と、各国の文化と共に生きてきた蚕の飼育を、今後も実体験を通して子どもたちに伝えていきます。

はだかんぼまつりを行いました。

元気いっぱい、泥だらけで遊びました。

6月30日に、園庭で全園児がはだかんぼになって、水遊び・泥遊びを行いました。ジュウオウジャーダンスで準備体操をした後、ウォータースライダー・マープリング・宝探し・泥山のビックサンダーマウンテンなどで遊びました。体中泥だらけになり、思う存分、泥や水の感触を味わっていました。

津田三滝幼稚園

園舎全面改装工事が完了しました。

充実した園舎と新しい遊具で、より楽しく。

8月31日、全面改装工事が終わり内外装が一新されました。ホール、保育室がきれいになり、トイレも最新の設備が整い、扉もかわいい動物のデザインになって、使いやすくなりました。また、遊具も新しくなりました。消防自動車の滑り台は年少児に人気です。消防自動車の上から友だちを呼んだり、トンネルの中に隠れたり…。他に、デコボコの網のぼりやローラー滑り台付きの総合遊具も仲間入りしました。

津田桑名幼稚園

平成27年度卒園制作

園児が力を合わせ北陸の名所・名物を描きました。

平成27年度卒園制作は、北陸新幹線開通にちなみ北陸にある代表するものを絵画指導の足立先生と一緒に製作しました。北陸には何があるのかを話し合いイメージを膨らませながら作品をしあげていきました。富山県五箇山の合掌造り・金沢城・白川郷福井県立恐竜博物館、そして越前ガニ。卒園児は北陸に旅行に行った気分で制作し細かい部分まで皆の力を結集させて完成させました。津田桑名幼稚園の卒園児の皆さん、どんな制作をしたか覚えていますか?

日曜参観の中で親子触れ合い運動を実施!

明るい保育室の中元気な笑顔と歌声が聞こえます。

6月12日に日曜参観を開催いたしました。年少と満3歳もも組は、音楽に合わせロボットに変身したり、お尻叩き・足踏みを親子で行いました。年中は、親子でパラバルーンに挑戦し、山・お家を親子でつくりました。子どもが保護者におんぶをしてもらいメリーゴーランドにも変身しました。年長は親子でプール。親子でプールの中を回り、流れるプールをつくったり、アスレチック、騎馬戦も行ったりしました。最後に大きなすべり台に挑戦。親子で楽しい時間を過ごすことができました。

津田大山田幼稚園

花植えにいきました

色とりどりのパンジーが咲きました。

近隣のショッピングセンターへ花植えにいきました。店長さんに花の名前や植え方を教えていただき、花植えスタートです。スコップを借りて、土を掘り起こし、丁寧に植えていき、花壇一面に色とりどりのパンジーの花がきれいに咲き誇りました。地域の方にもたくさん声を掛けていただき、嬉しそうな子どもたちの姿が見られました。最後に泡石鹸できれいに手を洗わせていただき、花植えを終了しました。

ネイチャーゲーム

五感をフルに使い、自然豊かな環境を満喫。

紀伊長島町から野外活動に詳しい奥川氏に来園していただき、津田学園大山田キャンパスの中を散策するネイチャーゲームを年長親子で行いました。自然いっぱいの環境の中、目を閉じて鳥の声を聞いたり、土を踏む感触を味わったり、珍しい花や草を見つけたり、奥川氏に特性を聞いたりしながら五感をつかってのネイチャーゲームを楽しみました。また、どんぐりをたくさん拾って「ハンカチのどんぐり染め」にも挑戦しました。子どもたちはもちろん、初めてのどんぐり染めに保護者の方も大興奮でした。津田学園の自然豊かな恵まれた環境を活かし、楽しいひとときを過ごすことができました。

卒園児の活躍　津田大山田幼稚園（平成18年3月卒園）上堀内 陸王君

伊勢志摩サミット ～ジュニアサミットに参加しました～

津田大山田幼稚園と聞いて思い出すのは、クラスが一緒だったやんちゃな仲間と元気にあいさつしてくれる植村園長先生、やさしい担任の先生やバスの運転手さんの顔です。仲間たちと触れ合う毎日が楽しく、ウキウキしながら通っていました。あれから10年が経ち、僕はジュニアサミットという貴重な経験をしました。ジュニアサミットで、提言書をまとめ上げ、首相に提出できたことは、僕達子どもでも世界を変えられるというメッセージを伝えることができ、自分にとって大きな自信となりました。僕は他国の人たちと議論や交流を通して学んだことがたくさんあります。国際社会においてディベート力が必要だと感じました。僕の長所はフレンドリーで誰とでも仲良くなれることですが、今回のジュニアサミットではそのことが活き、大事なことなんだと感じました。また、ジュニアサミットでの経験を活かし、社会に貢献できる大人となれるよう、今後努力したいと思います。

TOPICS

キララクラブ（未就園児保育）体験日 10:15～

津田第一幼稚園	2歳児：1月28日(土)　1歳児：2月25日(土)
津田第二幼稚園	2歳児：1月14日(土)　1歳児：12月10日(土)、2月25日(土)
津田三滝幼稚園	2歳児：12月17日(土)、2月3日(金)、2月25日(土)、3月10日(金) 1歳児：3月4日(土)
津田桑名幼稚園	2歳児：2月18日(土)
津田大山田幼稚園	2歳児：2月4日(土)、2月18日(土)、3月4日(土)

いちごクラブ

就園前のお子さまを対象に、親子で楽しく遊んでいただきます。
同時にお母さんの出会いや交流の場でもあります。
各幼稚園で毎月1回行っています。

※キララクラブ、いちごクラブの申し込み方法・内容は、各幼稚園にお問い合わせください。

津田学園小学校

http://www.tsudagakuen.ac.jp/shougaku/
〒511-0904 三重県桑名市野田5丁目3-12 TEL:0594-31-9311

「未来を拓く学力と自他を愛する人間性」の育成

津田学園小学校では、生涯学習の基礎をつくるこの時期に、実体験を重視した多彩な教育を取り入れています。様々な学習を通じ、学びの幅を広げ、児童の好奇心や探求心を深め、感受性を育みます。本年度は三重県で伊勢志摩サミットが開催されたこともあり、出前授業や国際メディアセンターの見学を通じ、世界へ視野を広げることができる、またとない機会でした。その他多彩な教育プログラムにより、「未来を拓く学力と自他を愛する人間性」の育成をめざし、教育活動に邁進していきます。

ウィーンフィルメンバーによる木管五重奏のコンサート

世界最高峰の芸術に触れる貴重な機会でした。

トヨタ自動車の社会貢献活動の一環として行われている、「トヨタ・マスター・プレイヤーズ, ウィーン 青少年のための特別プログラム」に津田学園小学校が選出されました。それを受けウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の奏者を中心とする、木管五重奏のコンサートを東員町総合文化センター・ひばりホールで開催しました。本校の児童のみならず、保護者、津田学園中学校・津田学園高等学校の生徒や近隣中学校の吹奏楽部の生徒も招待しました。アンコールを含め12曲を演奏していただきました。シュテパン・トゥルノフスキー氏は、動物の着ぐるみ姿で演奏し、会場を沸かせました。質の高い芸術文化、伝統文化に触れる機会を作り、児童の生涯学習の礎となるよう努めています。

出演者

マティアス・シュルツーアイグナー
(フルート／ウィーン国立歌劇場舞台管弦楽団)
ヘルベルト・マデルターナー
(オーボエ／ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団)
ペーター・ロイットナー
(クラリネット／ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団客員)
シュテパン・トゥルノフスキー
(ファゴット／ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団ソロ・ファゴット)
ヤン・ヤンコヴィッチ
(ホルン／ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団)

環境省とセーブ・ザ・チルドレンによる出前授業

伊勢志摩サミットを通じて、世界が対峙する課題へ目を向けました。

環境省とセーブ・ザ・チルドレンの方々に伊勢志摩サミットやより良き将来を実現するためのSDGs（持続可能な開発目標）に関する出前授業をしていただきました。「G7」「17の目標」などのキーワードについて、動画などを交えながら学習。また、「17の目標」のうち4つについて、自分たちに何ができるかを考えるアクティビティを行いました。様々な意見を取り入れ、世界の課題に目を向けながら自分にできることは何かを考え、意識するきっかけとなりました。

伊勢志摩サミットの国際メディアセンターを見学

サミットを身近に感じ、視野が世界へと広がりました。

5・6年生が伊勢志摩サミット取材のための総合施設、国際メディアセンターに見学に行きました。センターでは日本の技術や三重県の特産品、介護ロボットなどが展示され、G7首脳が話し合った円卓の実物を見たり、首脳会談の内容などを聞いたりしました。身近な場所でサミットが開催され、センターの見学・出前授業の実施の機会をいただいたことで、児童の視野を世界に向ける貴重な機会となりました。

キッズ"輝け"スクール（警察による非行防止教室）

警察官にご協力いただき、規範やルールについて教えていただきました。

三重県警の警察官とボランティアの方々による、キッズ"輝け"スクール（非行防止教室）を行い、窃盗についての寸劇を見ました。さらに警察官の方から「お金を払わずに店のものを勝手に持って行くことは泥棒」「悪いことをすると家族や周りの人が悲しむ」「良いことと悪いことを自分の頭でよく考えて生活する」という「3つの大事なこと」を教えていただきました。

夏期講習 プログラミングの授業とロボット教室

夏期講習では、様々な内容の授業を導入し、児童の学びを深めます。（4年生以上対象）

4年生が「ビスケット」というアプリケーションを使い、プログラミングの基礎を学びました。動く絵本をテーマに絵を描いたり、動かしたりと、熱心に取り組んでいました。またロボット制作の出前授業では、トランジスタと光センサー、モーターを組み合わせ、光に反応して進む小型ロボットを制作。どちらも普段の授業にはない内容で、学習の幅と深さを広げることができました。

TOPICS

プレテスト

平成28年11月26日(土)

※プレテストは実際の入試問題に近い内容で実施しております。入試前に受けて頂くことで、試験に慣れ、お子さまの受験への負担を軽減する目的です。

入学願書受付日

平成28年12月5日(月)～10日(土)および
12月12日(月)～17日(土)9:00～17:00　土曜日は9:00～12:00

入学試験

集団考査：平成29年1月7日(土)
親子面接：平成28年12月23日(金)または24日(土)

津田学園中学校・高等学校(六年制)

http://www.tsudagakuen.ac.jp/chugaku/
〒511-0904 三重県桑名市野田5丁目3-12 TEL:0594-31-6311

先行く学びが未来を拓く

平成22年に本学園の教育理念である「自由・自主・自律」の精神にのっとり、「社会的責任を自覚し、知・徳・体の調和のとれた人間の育成」を教育目標に掲げ、新たなカリキュラムを導入しました。そして本年、新カリキュラム導入一期生が巣立っていきました。中高一貫六年制の特色を活かした豊富な授業時間数、充実した課外授業、少人数教育によるきめ細かな指導によって、過去最高の国公立大学合格者を出すことができました。本校ではさらなる飛躍を目指して新しい教育に挑戦していきます。来るべき大学入試改革では、「思考力」「判断力」「表現力」が求められます。これは自ら課題を発見し答えが一つに定まらない問題に、答えを見い出していくために必要な諸能力が問われています。これらの力は高校3年間で定着させることは容易でありません。本校ではそれらの力を養成するために、教育ICTを取り入れた双方向授業やアクティブ・ラーニングなどを積極的に導入し、6年間という期間を最大限に活用した組織的な教育体制を確立していきます。

⊡ 大学合格実績

新カリキュラム第1期生が卒業、大躍進の実績をあげました。

今春の国公立大学等合格実績
(卒業生19名)

京都大学 文学部	1名	愛知県立大学 外国語学部	1名
愛知教育大学 教育学部	1名	静岡大学 教育学部	1名
茨城大学 工学部	1名	和歌山大学 システム工学部	1名
山梨県立大学 人間福祉学部	1名	三重県立看護学部	1名
高崎経済大学 経済学部	1名	防衛大学校 人文学部	2名

今春の私立大学等合格実績
(卒業生19名)

中央大学	1名	同志社大学	1名
立命館大学	2名	関西学院大学	1名
南山大学	6名	名城大学	1名
愛知大学	4名	中京大学	1名
日本大学	1名	東洋大学	1名
			など

今年3月に新カリキュラム一期生が卒業しましたが、半数以上の生徒が京都大学を始めとする国公立大学に合格を果たし、ほかの生徒たちも難関私立大学の受験に打ち勝って巣立っていきました。新カリキュラム導入以前の国公立大学合格数が毎年およそ数名であったことから、この進学実績は、新カリキュラム導入の成果が十分に表れたものと実感しています。しかし、この結果に満足せず、今後もさらなる飛躍を目指して教育活動に邁進していきます。

⊡ 国際交流プログラム

米国出身講師を招き、多文化共生社会について考えました。

6月22日、中学一年生を対象に、LHRの時間を利用して国際交流・国際理解プログラム(公益財団法人三重県国際交流財団主催)を実施しました。アメリカ合衆国出身の講師阿部シャロンさんにご来校いただき、アメリカと日本を比較し、生活や文化の違いなど今後一層進展すると予想される多文化共生社会について考える良い機会となりました。また、英語を使ったコミュニケーションゲームも実施し、生徒たちはとても積極的に参加しました。

⊡ 3市中学生交流事業・防災ボランティア体験活動

夏期休暇を利用して貴重な体験活動を行いました。

8月3~5日の3日間、3市中学生交流事業が埼玉県行田市で実施され、桑名市代表として1年生の宇佐美亘希君が参加しました。この事業は、友好都市である桑名市、行田市、白河市の中学生が各々の都市や学校での取り組みを理解し、主体的に学校生活を改善する姿勢を育むことが目的です。中学生フォーラムで、宇佐美くんは行田市内の中学生40名と意見交換を行いました。8月23日~26日の4日間、1年生の北川蓮翔君は東日本大震災で大きな被害を受けた釜石市と陸前高田市を訪問し、防災ボランティア体験活動に参加しました。地元の人々との交流を行い、中学生としてできる支援者の視点を学びました。

⊡ 桑名市高校生議会

議案を提出、提案説明、答弁を行いました。

8月20日、桑名市高校生議会が行われ、本校代表として5年生の伊藤綾門君、伊藤充君、杉森舞さんの3名が参加しました。桑名市高校生議会では、「桑名駅の改善」について議案を提出し、当日は議場で提案説明を行い、その後、事前に通告された質問および再質問を桑名市議会議員から受け、答弁を行いました。生徒たちは緊張しながらもしっかりと発表することができました。この貴重な体験を今後に生かしてくれることを期待しています。

⊡ 文化祭

腰塚勇人先生『命の授業:今の幸せに気付くことから夢が広がる』

9月8日から9日にかけて文化祭を実施しました。8日の午後から、腰塚勇人先生を講師としてお迎えし、自身の経験をもとに『命の授業:今の幸せに気付くことから夢が広がる』と題し、講演を行っていただきました。腰塚先生は、生徒たちに「ドリームメーカー」、「五つの誓い」、「命の喜ぶ生き方」など様々な話をしてくださいました。そして、この講演会で心が大きく揺さぶられ、涙を流す生徒もいました。また、生徒の感想文では、「私もこれから「五つの誓い」を心に決めて生きていきます。」や「自分も誰かのドリームメーカーになります。」という強い決意のこもった内容が多く寄せられました。

TOPICS

専願A方式
試験日:1月6日(金)　1:国語 2:算数 3:社会 4:理科、面接

一般B方式
試験日:1月9日(月)　1:国語 2:算数 3:社会 4:理科

出願期間　平成28年12月5日(月)~22日(木)

オープン模試を実施
10月29日(土)小学校6年生を対象に、実際に行われる本校の入試問題(国語 算数 社会 理科の4科目)に近いテストを体験できるイベントを実施。

津田学園高等学校(三年制)

http://www.tsudagakuen.ac.jp/koukou/
〒511-0904 三重県桑名市野田5丁目3-12 TEL:0594-31-6311

「新たな一歩から、確かな歩みへ」

平成26年4月、津田学園高等学校は制服を一新し、生徒の多様な進路希望に対応するため、特別選抜、特別進学、総合進学の3コースとしました。それにともない教育課程も大胆に見直して新たな一歩を踏み出しました。新設した特選コースにおいては、生徒たちが真摯に日々の学習に取り組んでいます。本年度は新体制の1期生が卒業をむかえます。東京大学をはじめ、国公立大学合格者20名以上を実現します。また部活動においても、平成28年度の県総体でゴルフ部・水泳部・ボウリング部がインターハイ出場、柔道部・剣道部・テニス部が東海総体に出場するなど、男子が総合4位・女子が総合5位という成績を収めました。このように津田学園高校は、確実に、そして着実に進化しており、今後とも、文武両道、個性の輝く学校として確かな歩みを進めていきます。

☑ 文化祭

充実した催しや発表が行われました。

9月15日・16日に文化祭が開催されました。今年度は「創立30年津田学園高等学校文化祭~躍動~」と題して、1日目を桑名市民会館で行いました。午前は、ピアノコーラスグループのPsalm(サーム)のライブ、午後は弁護士の清水幹裕氏の記念講演がありました。また、剣道部やダンス同好会による発表、一部のクラスによる発表も行われました。文化祭の1日目として、非常に盛り上がりをみせました。2日目は本校にて各クラスによる舞台発表・展示・模擬店が行われました。今年度は、どのクラスの企画もレベルが高く、生徒たちの表情も充実感に満ち溢れていました。

☑ 本校のクラブ生が大活躍!!

多数のクラブで全国レベルでの活躍が期待されます。

平成28年度の三重県高等学校選手権体育大会において、本校の生徒が活躍しました。水泳部、ゴルフ部、ボウリング部が全国大会出場。柔道部、剣道部、テニス部が東海総体出場するなどたくさんのクラブ生が上位に入賞し、総合で男子が4位、女子が5位に輝きました。また、野球部も春季大会では東海地区で3位に入賞し、全国高校野球選手権三重県大会において創部初の準優勝に輝きました。

水球、車いすテニスで活躍　オリンピック・パラリンピックに本校卒業生が出場

水球　角野友紀 (平成20年度 20期生)
32年ぶりの出場となりました。1次リーグ 5敗という結果でありましたが、角野選手は全試合に出場され、2得点をあげられました。
車いすテニス　斎田悟司 (平成2年度 2期生)
男子シングルス2回戦進出、男子ダブルスでは銅メダルを獲得されました。また、斎田選手はアテネ大会で金、北京大会では銅メダルを獲得されており3大会連続のメダルを獲得されました。三重県からも3回目となるスポーツ栄誉大賞が授与されました。

リオパラリンピック銅メダリスト 斎田悟司さん来校!

先日行われたリオパラリンピックの車いすテニス競技で銅メダルを獲得された斎田悟司さん(本校2期生)が来校されました。山川校長と小森教頭と対談され、津田学園高校へ入学するに至った経緯や、高校時代の思い出、現在も選手として活躍するために気をつけていることや、今後の展望などを話されました。中でも、苦難を乗り越えた先の達成感の素晴らしさ、その背景には家族含めた様々な方の協力があり、感謝の気持ちを忘れてはいけない、などのお話が印象的でした。また、日本におけるパラリンピックの認知度は世界に比べてまだまだ遅れている、といったお話もありました。今後は選手としての活動とともに、後進の育成にも取り組まれるそうです。ますますのご活躍を祈念いたします。

TOPICS

推薦入試　試験日

学校推薦	1月21日(土)	小論文、面接
特待奨学生選抜	1月21日(土)	1:国語 2:数学 3:社会 4:英語 5:理科、面接
自己選択選抜	1月22日(日)	1:国語 2:数学 3:英語、面接

一般入試　1月29日(日)　1:国語 2:数学 3:社会 4:英語 5:理科

各種検定試験に積極的にチャレンジしています
本校では様々な資格取得を目指しています。そのため、総合進学コースではキャリア総合という科目を設定しました。これまでに試験会場(準会場)に認定されていた漢字検定だけでなく、今年度は英語検定やGTEC for STUDENTS、ワープロ検定、ニュース検定、数学検定、eco検定、ITパスポート等を受験します。また、特進コースや特選コースにおいても検定試験に積極的にチャレンジしています。